

退職後夫婦 10 年のドラマ

帯広市 松井 英成・絹子

10 年前に退職、その年ある講演会で道民カレッジのパンフレットが配布されて知る事ができました。退職後の夫婦共通の趣味のきっかけになり、その後道民カレッジ連携講座を 2 人で受講始めました。自由に選択でき、都合のつく時に受講すれば良いので何よりです。続けるには、少しの目標が必要です。道民カレッジにはそれが備わっています。

まず、5 つの専門コースの博士 300 単位をそれぞれ取得することを目標にしました。(平成 28 年 6 月 28 日夫婦同時達成、9 年かかる)次に学長奨励賞(1000 単位毎に賞有り)に挑戦中です。

2000 単位は平成 28 年 6 月 28 日夫婦同時取得。講座の内容が色々なジャンルに及んでいるため大変おもしろく、社会の現状、知識の再認識ができてありがたく思っています。

一方、夫婦で活動していることがあります。男女共同参画ではありませんが、空ペットボトル風車を製作して菜園上に飾っています。空ペットボトルを切って風車(かざぐるま)を作り、それにカラービニールテープで色貼りして飾ります。始めてから 10 年になり、500 個以上のペットボトル風車を飾るようになりました。板で切り抜いたキャラクター等含めて 5 月から 9 月頃まで菜園上にアート展をしています。

以前、市民講座に声をかけていただきペットボトル風車を作る実践講座の講師を夫婦でやらせてもらい、40 名の方々が出席し、喜んで製作して下さり、我々夫婦の方が感激したことがありました。これがきっかけで帯広市の生涯学習活動の一部、コミュニティ講座の講師に夫婦で依頼していただきました。

また、帯広市のプラザ祭りでのイベントでは、ペットボトル風車作りを教える(200 人から 300 人参加、5 年続いている)等、道民カレッジがきっかけで、教わったり、教えたり新しい人生が生まれ感謝しています。

プラザ祭りのイベントで感動したことがあります。片手不自由な彼が来て「私、風車が作れますか?」と聞かれ、即「作れますよ、どうぞ作って持って帰って下さい」と返答すると「本当に!」とびっくりスマイルで、やり始めました。

苦労していると手助けしたくなる気持ちを抑えてアドバイス、しかしどうしても不自由な手の指が必要な時だけ手を加えましたが、倍以上の時間をかけ見事完成。回る風車の達成感を大変喜んで下さいました。

私たちのハートが熱くなり、顔を見合わせアイコンタクトで「大変だけどやって良かったね」と喜び合いました。「障がい者の理解と支援」の講座が役に立ちました。

道民カレッジのおかげで、私たち夫婦は今まさに、10 年の新人生ドラマを歩んでいます。チャンスある度好奇心が芽生え、やる気が出る。失敗しても経験できたことに感謝すれば前進できる。成功すれば感激して前進する。明日が楽しみです。「たかがペットボトルされどペットボトルものづくりの大切さに感謝」です。

これからも、この人生ドラマを夫婦で歩む中で、道民カレッジ講座を続けられることを願ってペンをおきます。この機会に感謝!ありがとうございました。